
●日本骨粗鬆症学会雑誌「Osteoporosis Japan」投稿規定●

はじめに

本誌は、骨粗鬆症の予防および治療研究の進展を目的として、投稿論文の掲載をはじめ、日本骨粗鬆症学会学術集会のシンポジウムや演題発表の内容を演者の寄稿により掲載するほか、編集部記事としてそれらの概要を紹介し広く情報提供を行っている。また、日本骨粗鬆症学会の委員会の報告や成果等についても逐次掲載して学会委員会活動の詳細を告知している。それ以外に、骨粗鬆症の予防と治療に関連する学術講演会や研究会の記録、各種団体の助成による骨粗鬆症に関する研究成果報告なども、関連情報として掲載する。

投稿論文

投稿については、骨粗鬆症の臨床研究に寄与しうるもので、未発表の研究あるいは薬効評価などの論文（和文・英文原著）、症例報告、総説、その他アンケートなどの調査報告を、「Contribution－骨粗鬆症の診断と治療」として掲載する。

・倫理

投稿者および共著者は、ヒトを対象とした研究について世界医師会総会で採択されたヘルシンキ宣言を遵守し、以下の指針に則したものでなければならない。

- (1) ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針（平成 13 年 3 月文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第 1 号 [平成 25 年 4 月 1 日全面改正]）
- (2) 疫学指針（平成 14 年文部科学省・厚生労働省告示第 2 号）
- (3) 臨床研究指針（平成 15 年厚生労働省告示第 255 号）

また、動物を扱った研究実験動物の飼育および保管等に関する基準（昭和 55 年 3 月総理府告示第 6 号）に基づいた各施設のガイドラインに則して行われたものでなければならない。

論文の投稿者は、投稿に際して論文にその旨を記載し、必要な場合には実施機関の倫理委員会等の承認を得ていることを記載する。

以上、この宣言における事実誤認または虚偽や過失により掲載された論文に対する訴えがあった場合、本学会および編集委員会は一切の責めを負わない。

・利益相反

論文の投稿者および共著者に利益相反（Conflict of Interest : COI）がある場合には開示が必要となる。投稿に際して下記執筆要項に則して COI 状態を報告する。なお、投稿者および共著者が開示する義務のある COI 状態は、投稿内容に関連する企業や団体に関わるもので、投稿時からさかのぼって過去 1 年以内のものに限定する。

開示すべき COI の詳細と基本的な記載方法については、日本骨粗鬆症学会ホームページ（<http://www.josteo.com/>）の「利益相反（COI）開示」を参照されたい。

・投稿方法

- －投稿論文は下記「Osteoporosis Japan」編集部宛てに郵送する。
- －投稿にあたっては、原稿とともに、論文査読用としてコピー1部を添付する。PC使用の場合、本文・図表のデータはCDやUSBメモリーなどの電子媒体で添付する。
- －著者校正送付先を別紙に付記する。著者校正は原則的に1回のみとする。

・論文査読など

- －掲載の可否は、投稿論文の内容に応じて編集委員会が定める査読者（責任査読者1名、査読担当者2名）の査読によって決定する。査読の結果によって、掲載条件として原稿の加筆・修整を求め、再査読を行う場合がある。
- －査読の結果不掲載が決定した場合には、編集部から投稿者にその旨を通知し原稿を返却する。
- －掲載が決定した場合、原則として原稿は返却しない。
- －論文投稿者には掲載誌刊行後に見本誌1部と別刷20部を贈呈する。

執筆要項

- －PC作成の場合、A4判用紙に余白と行間を十分とってプリントアウトする。手書きの場合は和文は楷書体、英文は活字体で、原稿用紙に大文字・小文字、書体の別や句読点などを明瞭に書く。
- －タイトル頁には、論文題・著者名・所属・利益相反（COI）の開示を明記し、英文による論文題、筆頭著者名とその所属および3～4語のkey wordsを記載する。
- －英文サマリーは必須ではないが、付ける場合には300words以下の構造化抄録を推奨する。
- －文体は論文体（である体）、表記・送り仮名等は新字・新仮名づかいとする。（内容に抵触しない範囲で編集部で統一する。）
- －略語は、文中初出時に全綴りの後（ ）内に記し、原則として新しい略語を用いない。やむをえない場合は国際刊行物を参照し、適切な略語を選ぶ。
- －図表は、本文中に初出順に「図1」「表2」もしくは「Fig. 3」「Table 4」のように記載する。図表原稿は本文とは別紙にし、添付データも本文と区別する。基本的に図表はモノクロ掲載とするので、作成時に留意する。
- －引用文献は、本文中に引用順に該当個所の右肩に「¹⁾」「^{1,2)}」「^{1~4)}」のように記し、本文末尾に1) ……、2) ……と一括して、以下の要領で記載する。

【雑誌】 著者名. 論文名. 雑誌名 発行年；巻数（号数）：頁－頁.

【書籍】 著者名. 論文名. 編者名（編）. 書名. 発行地：発行所；発行年. 頁－頁.

原則として著者は3名までを列記し、4名以上の場合には「3名ほか.」「3名, et al.」とする。また、欧文誌名略号はIndex Medicusにしたがって表記する。

なお、投稿中・掲載予定の引用文献は、その旨を明記のうえ、（ ）内に投稿雑誌名を記入する。

- 《例》 1) 宗圓聰, 福永仁夫, 杉本利嗣ほか. 原発性骨粗鬆症の診断基準 (2012 年度改訂版). Osteoporosis Jpn 2013; 21: 9-21.
- 2) Nishizawa Y, Nakamura T, Ohta H, et al. Guidelines for the use of biochemical makers of bone turnover in osteoporosis (2004). J Bone Miner Metab 2005;23:97-104.
- 3) 山本吉蔵, 井上哲郎, 高橋栄明. 椎体計測のための罫線設定とpointingの基準. 整形外科 1995;46:5-17.

掲載料・別刷代

－掲載に伴う諸費用を掲載料として申し受ける。掲載料は1頁2万円を基本とし、図表の作成実費をこれに加算する。なお、掲載4頁までは基本掲載料を減免する。

－贈呈分の20部を超えて別刷作成を希望する場合、実費で作成する。別刷希望部数は著者校正返送時までに編集部宛て通知する。なお、別刷単価は頁数と作成部数により異なるので、詳細は編集部にお問い合わせされたい。(例：4頁50部@320円・100部@210円、8頁50部@400円・100部@250円など)

原稿送付先・問い合わせ先

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町8-1 ヒューリック小舟町ビル6F

ライフサイエンス出版株式会社 日本骨粗鬆症学会雑誌「Osteoporosis Japan」編集部

電話 (03) 3664-7917, FAX (03) 3664-7734, E-mail : opj@lifescience.co.jp

その他

－本誌の略称は「Osteoporosis Jpn」である。

－本誌では、骨粗鬆症の臨床研究の発展に資する情報/意見であると編集委員会が判断するもので、次の要件を満たす投稿原稿を掲載する。

- ① 原稿は3,000字程度(本文・引用文献とも。図表は小1点400字換算で調整すること)
- ② 倫理規定に反しない内容である。
- ③ COIを開示する。
- ④ 査読により内容表現に修整が入る場合がある。
- ⑤ 掲載時期は学会誌の誌面構成を勘案して編集委員会が決定する。
- ⑥ 掲載時に“本稿はOpinionとして、執筆者の意見を最大限に尊重して掲載した(本誌編集委員会)”と表記する。(意見について)

－掲載論文の複製・転載・翻訳ならびにデータベースへの取り込み・インターネットによる配信(公衆送信)についての許諾権はライフサイエンス出版株式会社に帰属する。

* * *